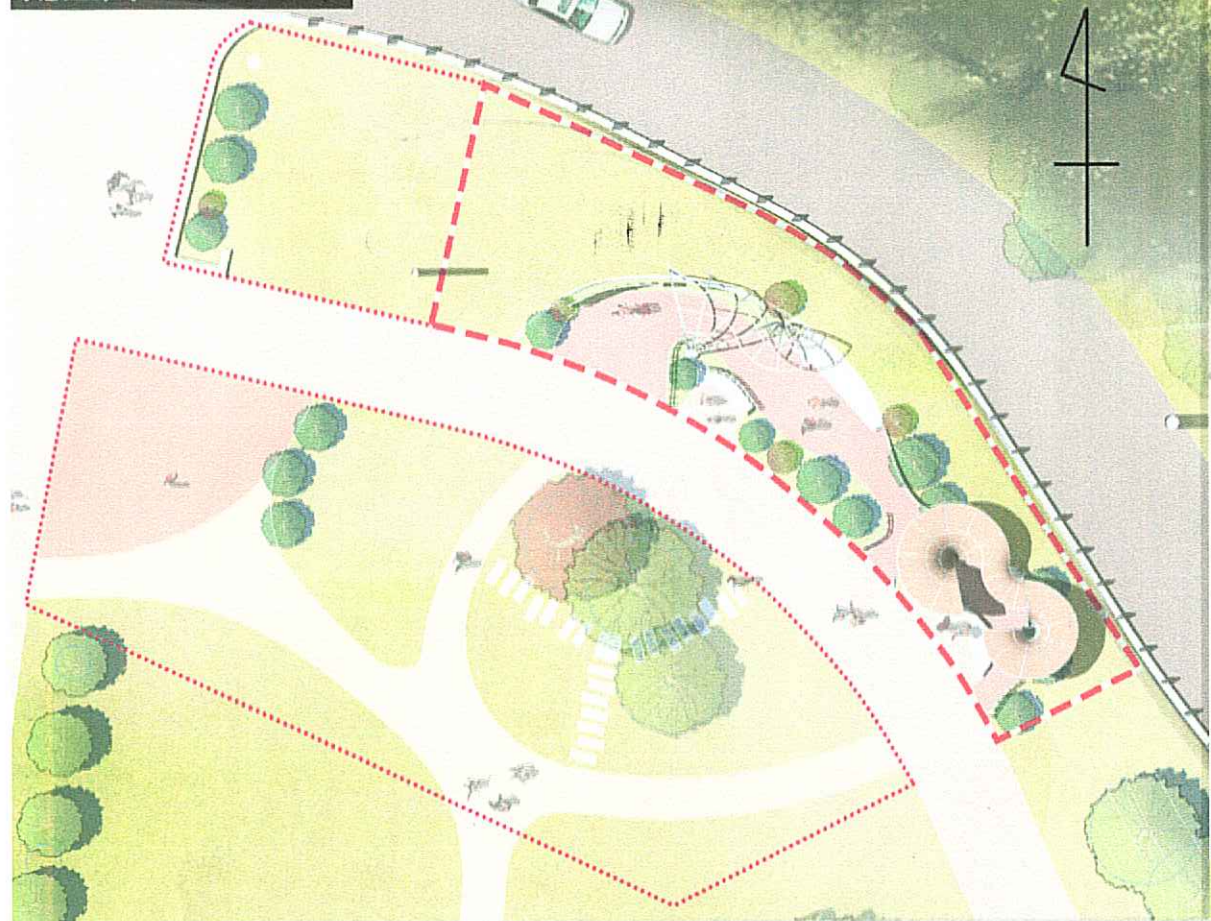




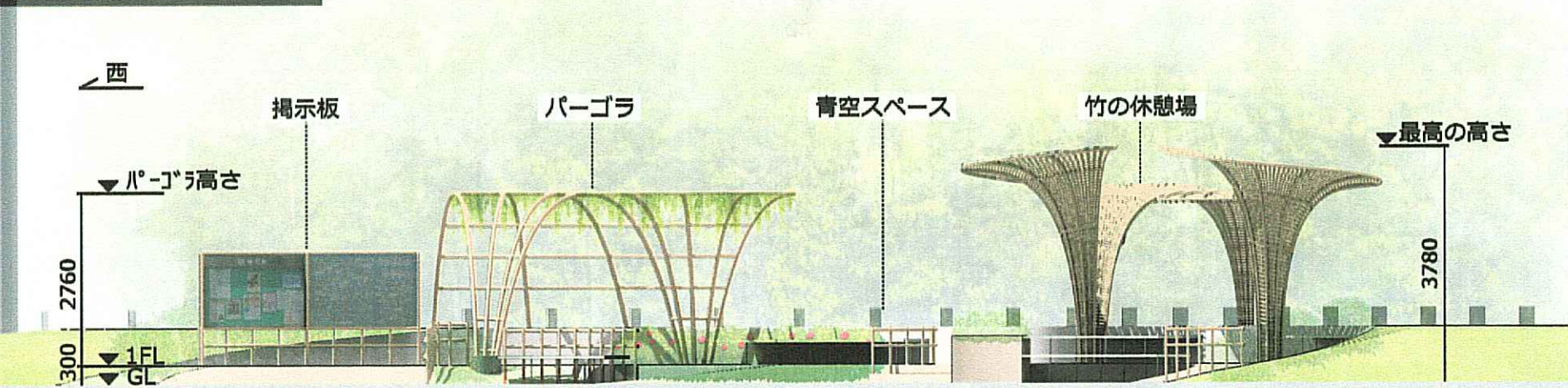
配置図 S=1:500



利用者へのメッセージ

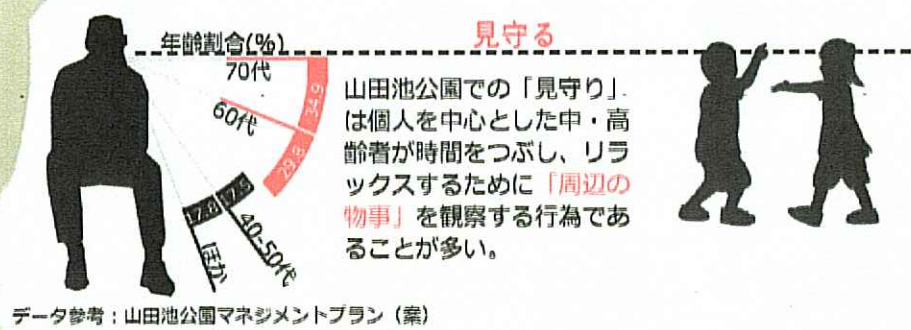
西側の入口には掲示板を設置する。その主な役割はイベントの情報を知らせたり、昔の思い出の写真を展示したりする。そこから利用者をパーゴラの通路、見晴らしの良い、自然の雰囲気の良い休憩スペースへ導く。

南立面図 S=1:100



コンセプト

一般的に、「見守り」とは、親が子供の活動の安全を保障するために行う守衛行為を指す。



山田池公園で注目した特徴的な「見守り」に対して、今回の休憩所のデザインでは、自然と調和し、多様な空間体験があり、利用者に居場所感を与えることができる休憩所を作りたいと考えています。

HOW

- 01 自然な建物の形と開いた空間で利用者に落ち着く感を与える。
- 02 視線が交錯する空間を作りフィールド感を演出する。
- 03 見晴らしの良い場所を作る。

現状分析

Strength (場所の強み)

・見晴らしが良い、自然に恵まれた場所である。

Weakness (場所の弱み)

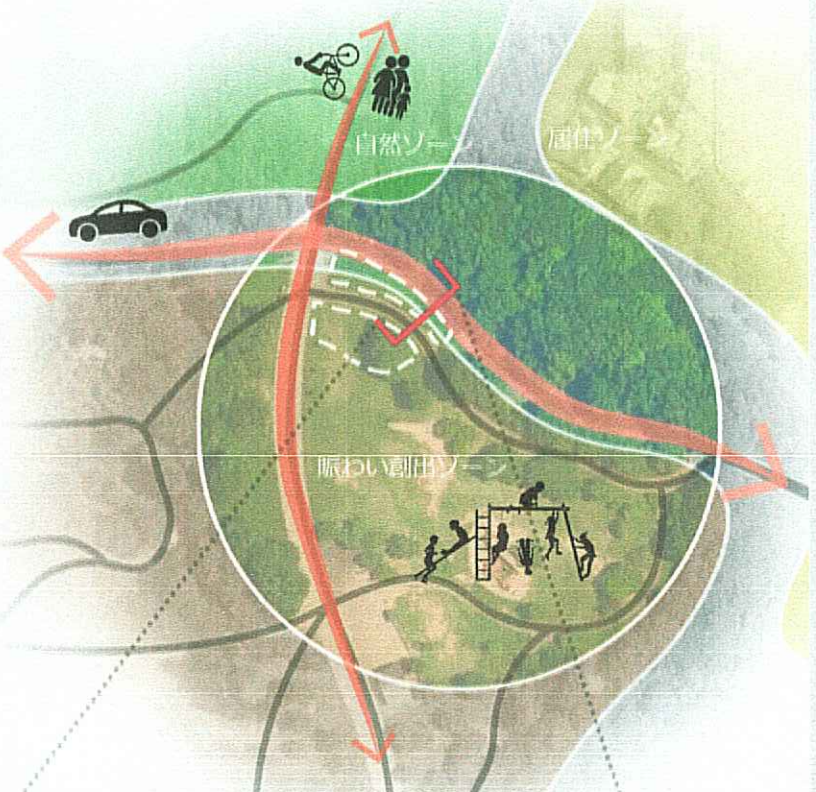
・計画地が細狭い、計画区域は未開発のまま、利用者が少ない。

Opportunity (機会創出)

・計画地の西側は人通りの多い歩道である。
・計画地が公園全体計画の「自然ゾーン」と「賑わい創出ゾーン」の境界にある。

Threat (留意すべき点)

・計画地の近くの自由広場には遊具施設が充実している、計画地の機能が自由広場の機能と相互補完すべき。
・計画地の北の車道が車通りが多い、車の視線を確保すべき。



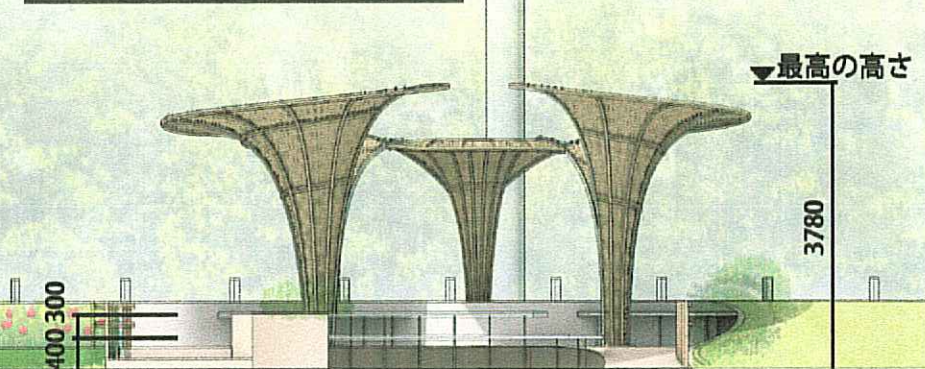
平面図 S=1:100



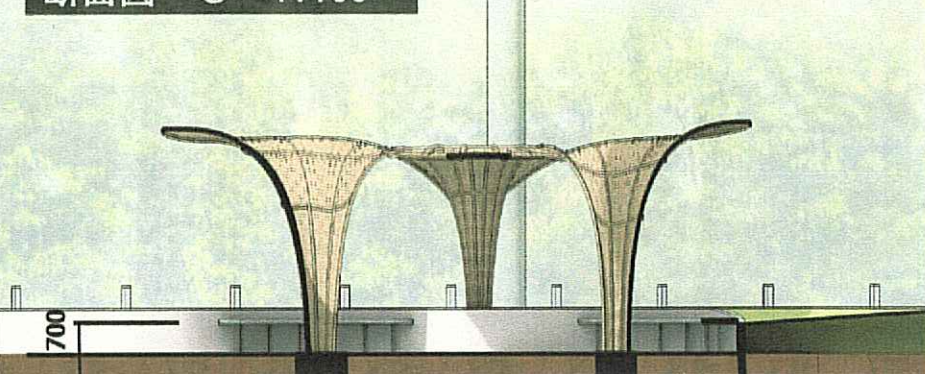
建築概要

建築面積：20.887㎡
屋根材：積層竹I型パネル
構造：竹造
算定表：
A 10.994㎡ B 2.036㎡ C 7.857㎡
合計：10.994㎡+2.034㎡+7.857㎡=20.887㎡

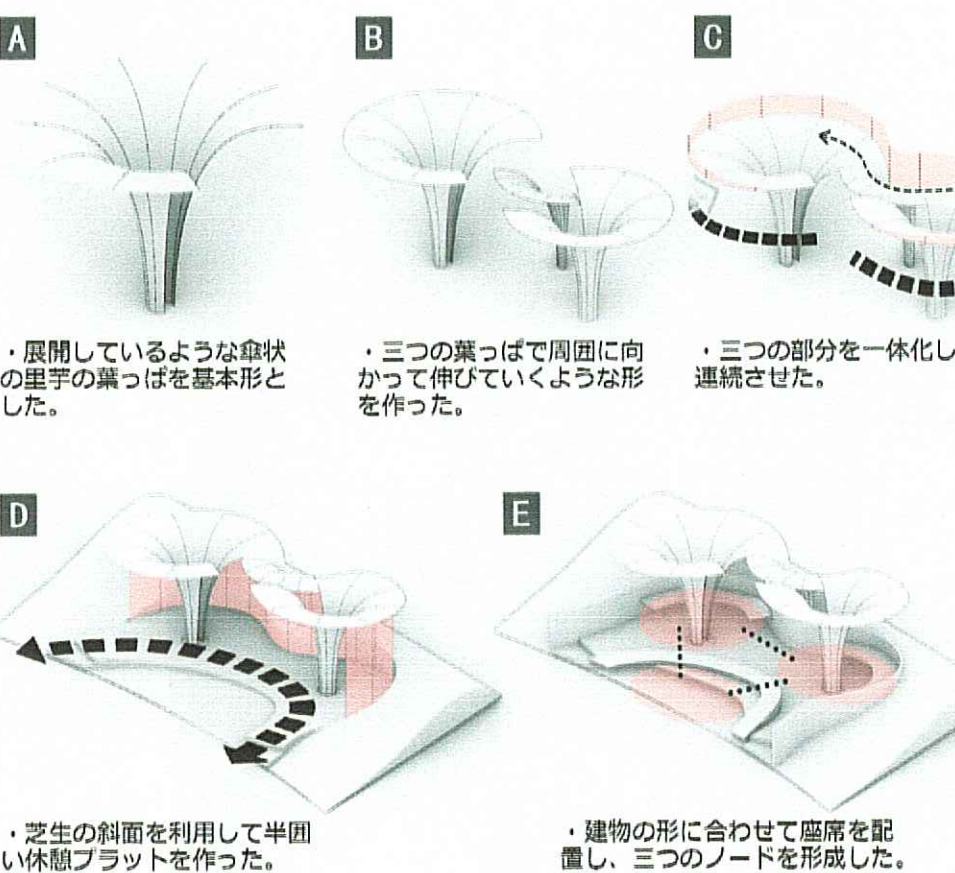
西南立面図 S=1:100



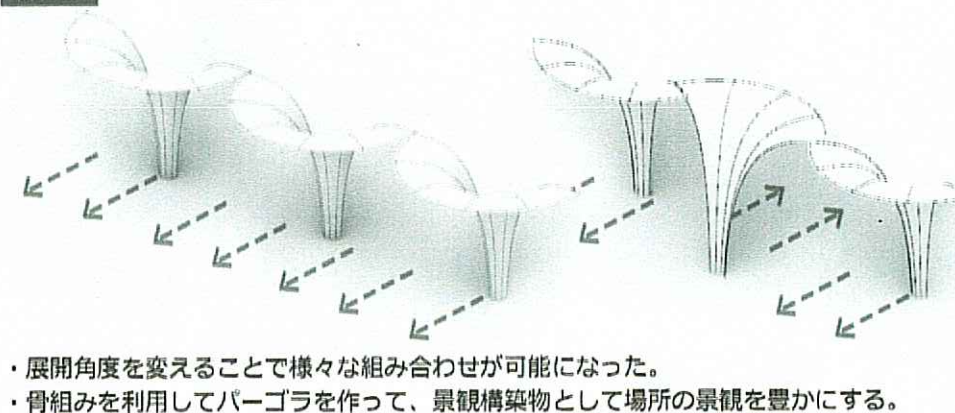
断面図 S=1:100



設計の流れ



派生



屋根構造

